

被災地で火災増加！ - 西日本防災システム

2013 03 30

東京電力福島第1原発事故で多くの住民のかたが避難した福島県東部の**双葉地方**で、火災が増加しているようです。避難指示区域の再編で立ち入り可能な範囲が広がり、失火の危険性が高まっているにもかかわらず、消防は人手が足りないようです。ほぼ無人のため発見が遅れる可能性もあり、各自治体は住民に対して一時帰宅中は火を使わないよう呼び掛けているそうです。

緊急時避難準備区域が解除された**広野町**では3月2日午後には林野火災が発生しました。約10ヘクタールを焼損し、鎮火までほぼ丸1日かかったそうです。全町民5500人のうち約1割ほどしか住んでおらず、町の消防団員で消火活動に参加できたのは4割以下だったようです。

浪江町の警戒区域では10日午後、雑木林やビニールハウスなど約4ヘクタールが焼けました。同区域は消防団員が入れず、県の防災ヘリコプターも強風で飛べなかったそうです。8町村を管轄する双葉地方広域消防本部は、一時帰宅した人が墓参りであげた線香が火元とみています。

双葉地方の火災は2011年 **27件**、12年 **11件**。今年は3月30日までに**9件**と、過去2年のペースを上回っています。

被災されて大変なのにさらに火災とは・・・ どうか どうか 火の元にはくれぐれも御注意下さい！



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

